

事業番号	02 03 01	事業改善シート(令和4年度実施事業分)			□当初要求 ■当初予算案 □補正予算案 □点検
事業名	DX推進事業	部局	企画振興部	課・室	DX推進課
		実施期間	H16 ~	E-mail	dx-promo@pref.nagano.lg.jp
総合5か年計画(しあわせ信州創造プラン2.0)					
8つの重点目標	①付加価値を高め、経済成長を実現				
総合的に展開する重点政策	1-1 生きる力と創造性を育む教育の推進	2-6 郷学郷就の産業人材育成・確保	3-7 先端技術の積極的な活用・導入		

1 現状と課題

目指す姿	<ul style="list-style-type: none"> 長野県DX戦略(令和2年7月策定)に基づき、Society 5.0時代を見据えて、県全域のDX推進に資する人材育成・誘致を行うことで、長野県を、県民や地場企業に加えて、県外の人や企業にとっても魅力的な地域にすることに資する。 スマート自治体推進PJの実現に向けて、県庁自らのDXを推進する。 先端技術活用推進協議会の下で、県・市町村自治振興組合と市町村が連携し、自治体DXの推進を図る。 	
これまでの取組	<ul style="list-style-type: none"> デジタル人材育成応援イベント「Nagano Fledge」を通じて県内外のキーパーソンとのネットワークを構築、デジタル人材を育成 全庁業務量調査の結果に基づき、総務部と連携して業務プロセス改革を推進 先端技術活用推進協議会の運営を通じて、市町村との連携による行政事務のDXを推進 	
令和3年度の点検結果・現状分析	課題	今後の方向性
	<ul style="list-style-type: none"> 現在においても、県内におけるデジタル人材としての素養や感性を身に付ける機会が少ない状況 次期情報システム(ながのデジタルワークプレイス)の導入に向けて、更なる業務プロセス改革が必要 	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、県内における若年者層を対象としたアプリケーションコンテストやデジタル人材育成応援イベントを、民間事業者等と連携を図りつつ実施 総務部と連携し、次期情報システム(ながのデジタルワークプレイス)をより効果的に活用、全庁共通業務を効率化

2 令和4年度事業内容

予算のポイント・主な取組(予定)	<ul style="list-style-type: none"> ✓ デジタル人材の育成・誘致 <ul style="list-style-type: none"> 多様なデジタル人材の育成・誘致のため、デジタルを活用して創造的な活動を幅広く実施している者同士が、互いに連携し刺激を与えあう機会を提供するとともに、その取組を全国に発信(デジタル人材育成応援イベント「Nagano Fledge」を開催) ✓ スマート自治体の推進 <ul style="list-style-type: none"> 全庁業務量調査の結果に基づく、次期情報システム(ながのデジタルワークプレイス)導入に伴う業務プロセス改革を引き続き推進 ICT(RPA、AI音声文字起こし、チャットボット、電子申請など)の導入効果が高いと考えられる業務の所管部局へ導入の検討を促すとともに、導入に向けた作業を伴走型で支援 次期情報システム(ながのデジタルワークプレイス)の活用方法の庁内浸透を図るとともに、テレワークやWEB会議を活用した多様な働き方を推進
DX、ゼロカーボン、共生社会づくり、学びの県づくりに資する取組	<p>【DX】</p> <ul style="list-style-type: none"> 長野県DX戦略に係る各部局の取組を推進 ICTの利活用を推進し、庁内全体の業務改善を実施

指標の状況及び目標値 [↑:改善、↓:悪化、→:変化なし、—:数値なし]								
No	成果指標	単位	R1年度	推移	R2年度	推移	R3年度(見込)	R4年度目標値
1	NaganoFledge参加者数	人	-	—	-	—	500	600
2	RPA適用業務数	業務	27	↓	10	↑	20	20
3	電子申請利用件数	件	99,700	↑	115,978	↑	199,000	200,000

事業コスト	区分(単位:千円)	R2年度	R3年度	R4年度
	前年度繰越	0	0	
	当初予算	242,261	263,682	要求 256,149 予算案 269,847
	補正予算	11,851	29,384	
	合計(A)	254,112	293,066	要求 256,149 予算案 269,847
	うち一般財源	216,163	246,219	要求 242,776 予算案 240,984
	決算額(B)	267,358		
職員数(人)	11.0	14.0	14.0	

設定理由	成果指標	<ol style="list-style-type: none"> Nagano Fledgeの参加者数を設定 スマート自治体推進の取組に係る進捗状況の指標として設定 電子申請の活用状況を示す数値である電子申請利用件数を設定
	目標値	<ol style="list-style-type: none"> 令和3年度参加者数の20%増を目標に設定 全庁業務量調査結果を活用し、適用効果の高い事務から着実に進めるため、20業務/年と設定 令和3年度はコロナ関係のアンケート等で大きく増加したが、令和4年度は大きな増加要因がないため令和3年度と同程度に設定

予算要求からの主な変更点	国補正予算を活用し個人番号カード普及促進事業を実施するため、スマート自治体推進事業の費用を増額
--------------	---

事業番号 02 03 01 事業改善シート (令和4年度実施事業分) 当初要求 当初予算案 補正予算案 点検

事業名	DX推進事業	部局	企画振興部	課・室	DX推進課
-----	--------	----	-------	-----	-------

細事業 No.	細事業名	R2年度 当初予算	R3年度 当初予算	R4年度 当初予算	
1	DX推進事業	6,671 千円	7,576 千円	要求 予算案	7,128 7,128 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度 実施内容(予定)		
1	DX戦略の推進	直接	<ul style="list-style-type: none"> ・職員の旅費、事務消耗品等 ・CDOアドバイザーの活用、DX推進にかかるICT等の実証 		

細事業 No.	細事業名	R2年度 当初予算	R3年度 当初予算	R4年度 当初予算	
2	デジタル人材育成・誘致事業	0 千円	11,149 千円	要求 予算案	9,149 9,149 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度 実施内容(予定)		
1	デジタル人材育成・誘致事業	委託	デジタルを活用して創造的な活動を幅広く実施している者同士が連携し刺激を与えあう機会の提供(デジタル人材育成応援イベント「Nagano Fledge」の開催)		

細事業 No.	細事業名	R2年度 当初予算	R3年度 当初予算	R4年度 当初予算	
3	スマート自治体推進事業	190,953 千円	200,335 千円	要求 予算案	195,325 208,296 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度 実施内容(予定)		
1	ICTの活用による庁内DXの推進	直接 委託	<ul style="list-style-type: none"> ・テレワーク、WEB会議等の推進 ・RPA、AI音声文字起こし、チャットボット、電子申請、WEB会議、テレワーク、GIS等の利活用推進 		
2	市町村との共同による行政DXの推進	負担金 委託	市町村自治振興組合との連携や、先端技術活用推進協議会の活動を通じた市町村行政事務のDXの推進		

細事業 No.	細事業名	R2年度 当初予算	R3年度 当初予算	R4年度 当初予算	
4	公的個人認証サービス	44,637 千円	44,622 千円	要求 予算案	44,547 45,274 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度 実施内容(予定)		
1	公的個人認証サービス負担金	負担金	公的個人認証サービスの運営費用の負担(負担先:地方公共団体情報システム機構)		